



応用生態工学会ニュースレター  
Ecology and Civil Engineering Society (ECESJ)

No. 89

2020 年 (令和 2 年) 9 月 17 日 (木) 発行

〔発行所〕 応用生態工学会事務局 〒102-0083 東京都千代田区麹町 4-7-5 麹町ロイヤルビル 405 号室  
TEL : 03-5216-8401 FAX : 03-5216-8520 E-mail : [eces-manager@ecesj.com](mailto:eces-manager@ecesj.com) HP : <https://www.ecesj.com/>  
〔発行者〕 応用生態工学会 (編集責任者 : 幹事長 北村 匡, 事務局長 青江 淳)

|     |                                                                               |    |
|-----|-------------------------------------------------------------------------------|----|
| 1   | はじめに.....                                                                     | 1  |
| 2   | 応用生態工学会第 24 回総会案内.....                                                        | 2  |
| 3   | 応用生態工学会 2020 年度研究発表会 web 開催のお知らせ.....                                         | 4  |
| 4   | 来年に延期された札幌大会の開催準備について.....                                                    | 4  |
| 5   | 応用生態工学会各委員会等の web 会議開催状況 .....                                                | 4  |
| 6   | 行事開催報告                                                                        |    |
| 6.1 | 応用生態工学会仙台 フィールド調査 (R1 報告会)<br>『仙台湾南部海岸環境追跡プロジェクト<br>～東日本大震災後の海岸堤防について～』 ..... | 6  |
| 7   | 理事会・幹事会報告                                                                     |    |
| 7.1 | 第 105 回理事会 (メール会議) 報告.....                                                    | 9  |
| 7.2 | 第 106 回理事会 (メール会議) 報告.....                                                    | 9  |
| 7.3 | 第 107 回理事会 (メール会議) 報告.....                                                    | 9  |
| 8   | 2020 年度行事の経過と今後の予定 .....                                                      | 11 |
| 9   | 事務局より .....                                                                   | 12 |

## 1 はじめに

今号では、第 24 回総会案内、応用生態工学会 2020 年度研究発表会 web 開催のお知らせ、来年に延期された札幌大会の開催準備について、応用生態工学会各委員会等の web 開催状況、各地の活動状況など、学会の動きをお伝えします。

### 第 24 回総会案内を掲載しました

新型コロナウイルス感染拡大を受けて、大会時に開催してきた従来の総会に替えて、議事に対する賛否、意見を表す回答書をメール・FAX・書面のいずれかで提出していただく形で開催することとしました。

9 月 30 日 (水) までに、回答書を返信いただきますようお願いいたします。総会の成立には正会員の 1/5 (約 170 名) 以上の返信が必要となります。

### 応用生態工学会 2020 年度研究発表会 web 開催のお知らせを掲載しました

第 24 回札幌大会の 1 年間延期を承認した第 105 回理事会において、研究発表の場を失う研究者の救済措置を検討して欲しいとの意見が出され、応用生態工学会東京で検討を進めたオンライン研究発表

会の開催案が第 107 回理事会において承認されました。

### 来年に延期された札幌大会の開催準備について掲載しました

来年の札幌大会の準備を進めるにあたり、新型コロナウイルスの感染状況の終息が見通せない中で、コロナの影響で対面式の大会を実施することが難しいと判断された場合のことを考え、札幌大会の開催形態については、対面のみ開催、対面＋オンラインの併用、オンラインのみの開催の 3 つの案について検討を進めることとなりました。

### 応用生態工学会各委員会等の web 開催状況を掲載しました

当学会の各委員会等の活動に web 会議の開催が広がっていますので実施例を掲載しました。

## 2 応用生態工学会第 24 回総会案内

応用生態工学会第 24 回総会を下記のとおり開催いたします。正会員の皆様のご参加をお願いします。

第 24 回総会は以下のとおり開催します。

期 間：2020 年（令和 2 年）9 月 17 日（木）～9 月 30 日（水）17 時

開 催 の 形 態：議事に対する賛否、意見を表す回答書をメール・FAX・書面のいずれかで提出していただきます。

回答書提出期限：9 月 30 日（水）17 時まで

総会の成立には正会員の 1／5（約 170 名）以上の回答書の提出が必要となりますので、よろしくお願いいたします。

総会資料は、ホームページ上に掲載しています。

### 甲村会長の挨拶

応用生態工学会正会員の皆様へ

令和 2 年 9 月 17 日

応用生態工学会会長 甲村謙友

### 第 24 回総会の開催について

本年は新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により、多くの人命が失われ、社会生活や経済活動に深刻な影響が生じています。

このような状況を受けて、当学会は 5 月 14 日～20 日開催の第 105 回理事会において、第 24 回札幌大会を 1 年延期することを決定いたしました。

しかしながら、例年、大会時に開催してきた総会につきましては、前年度決算・監査報告及び来

年度予算案等を審議する場であり、来年度の学会活動を進めていくためには3密を回避した形態で開催する必要があります。

つきましては、本年度の総会の開催について、8月31日～9月7日開催の第107回理事会において、例年の対面とメール・FAX・郵送による委任状提出の併用に替えて、メール・FAX・郵送にて開催することを決定いたしました。正会員の皆様のご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

なお、当学会の委員会の多くが、すでに対面・メール会議に替えて、Web開催にて実施しております。

今後、役員会・総会等についても必要に応じてWeb開催について検討を進めてまいります。

## 応用生態工学会 第24回総会 議事次第

### 1 報告事項

#### 1-1 2019年度（令和1年度）事業報告

- (1) 一般経過報告（資料-1）
- (2) 会員状況報告（資料-2）
- (3) 総会・理事会・幹事会・委員会の開催状況報告（資料-3）
- (4) 会誌「応用生態工学」編集状況報告（資料-4）
- (5) 2019年度（令和1年度）事業報告（資料-5）
- (6) 第5次中期計画の策定延期報告（資料-6）

### 2 審議事項

#### 2-1 第1号議案 2019年度（令和1年度）決算・監査報告

- (1) 2019年度（令和1年度）決算報告（資料-7）
- (2) 2019年度（令和1年度）監査報告（資料-8）
- (参考) 2020年度（令和2年度）事業実施状況・収支見込み（資料-9）

#### 2-2 第2号議案 災害調査引当資産の補充（資料-10）

#### 2-3 第3号議案 2021年度（令和3年度）事業計画案（資料-11）

#### 2-4 第4号議案 2021年度（令和3年度）予算案（資料-12）

第 24 回総会(メール・FAX・書面)議事に関する賛否・ご意見・ご指摘等

氏名 \_\_\_\_\_

報告事項

「1-1 2019 年度（令和 1 年度）事業報告」（資料-1～6）に対するご意見等

|  |
|--|
|  |
|--|

審議事項

「2-1 第 1 号議案 2019 年度（令和 1 年度）決算・監査報告」（資料-7, 8）

(1) 決算報告 【承認 する or しない】

(2) 監査報告 【承認 する or しない】

ご意見・ご指摘

|  |
|--|
|  |
|--|

「2-2 第 2 号議案 災害調査引当資産の補充」（資料-10）

【承認 する or しない】

ご意見・ご指摘

|  |
|--|
|  |
|--|

「2-3 第 3 号議案 2021 年度事業計画案」（資料-11）

【承認 する or しない】

ご意見・ご指摘

|  |
|--|
|  |
|--|

「2-4 第 4 号議案 2021 年度予算案」（資料-12）

【承認 する or しない】

ご意見・ご指摘

|  |
|--|
|  |
|--|

その他ご意見・ご指摘

ありがとうございました。

### **3 応用生態工学会2020年度研究発表会web開催のお知らせ**

新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う第 24 回札幌大会延期により、研究発表の機会を失うことに対する救済措置として、オンラインによる研究発表会の開催案を応用生態東京のメンバーが中心になって検討し、本年 8 月 31 日～9 月 7 日に開催した第 107 回理事会（メール会議）に諮り、了承された。

オンライン研究発表会(案)

- ・開催時期：令和 2 年 11 月下旬から 12 月中旬の土休日
- ・発表方法：Zoom ウェビナーを用いた口頭発表  
ポスター発表に相当する発表方法は検討中
- ・会員向け案内配信：9 月上旬頃
- ・研究発表申込及び要旨原稿提出：10 月頃
- ・発表賞：検討中
- ・シンポジウム、自由集会等は行わない。

### **4 来年に延期された札幌大会の開催準備について**

本年 5 月 14 日～20 日に開催した第 105 回理事会（メール会議）において、本年 9 月 24 日～28 日に開催を予定していた第 24 回札幌大会の 1 年間の延期が承認された。

来年の札幌大会の準備を進めるにあたり、中村太士実行委員長より、新型コロナウイルスの感染状況の終息が見通せない中で、コロナの影響で対面式の大会を実施することが難しいと判断された場合のことを考え、札幌大会の開催形態については、以下の 3 つの案について検討を進めたいとの方針が示され、本年 8 月 31 日～9 月 7 日に開催した第 107 回理事会（メール会議）にて了承された。

対面のみの開催

対面＋オンラインの併用

オンラインのみの開催

### **5. 応用生態工学会各委員会等の Web 会議開催状況**

次ページに示す。

学会のWeb会議の開催状況

| Web会議名称                 | 開催日           | ソフト名                       | 参加人数     | 開催結果の評価・反省点等                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|-------------------------|---------------|----------------------------|----------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 会誌編集幹事会                 | 6月23日<br>8月6日 | Zoom<br>Zoom               | 4名<br>5名 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・通常のMeeting形式(全員が映像・音声on)</li> <li>・各参加者は使い勝手に慣れており、特に問題なし。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 応用生態工学会仙台<br>フィールド調査報告会 | 8月6日          | Zoom<br>エンタープライズ版<br>OYO契約 | 約50名     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ウェビナー形式。映像・画像ともに、手作りでも、視聴者の許容範囲内では配信できた(アンケートで不満という回答はなし)。</li> <li>・イベントとして一定品質の配信を行うためには、パネリスト(発表者)には、一定の機材、通信環境が必要。</li> <li>・パネリストの発表時間管理が難しい。⇒事前に時間を守るよう周知する。手元に時計も準備させる。</li> <li>・PPTの切り替えに時間がかかる、PCの操作音が入った等々、テクニク的な課題が複数あり。経験を積み、改善可能。なお、マイク等について知識がない人が多いため、一定の機材は学会での準備が必要と考える。</li> <li>・Zoomは役所関係がアクセスできないのは課題。今回は対応策として、Youtube配信を実施。・・・Youtubeライブ配信の知識も得たのは大きい。</li> <li>・ウェビナーというものが浸透していないため、自分の映像・音声がかんにならないといった単純な問い合わせがあった。チラシには留意事項として書いていたが、読まずに参加する人もいる。事前周知は徹底を図る必要がある。</li> <li>・受講証明書について、受講者名や連番が空欄の証明書を渡せないため、受講証明書の発行や送付に手間がかかる。全国大会レベルになると、大変な作業になる。プログラムによる自動化が必要。</li> <li>・今回、手作りでも、ウェビナーを開催できることが分かった。業者に頼んでもよいが、一定の費用がかかること(地域イベントでは費用的に無理では?)、色々な人に覚えてもらわない問い合わせ等で情報サービス委員会への負担が継続することから、学会員自らが、ウェビナー開催に取り組んでもよいと思われる。ウェビナーに一度かかると、自社等で開催する際の知識にもなる。</li> </ul> |
| 2020Web研究発表会<br>準備会     | 8月12日         | Zoom<br>エンタープライズ版<br>OYO契約 | 約10名     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・通常のMeeting形式(全員が映像・音声on)</li> <li>・参加者が使い勝手に慣れていけば、特に問題なし。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 札幌大会実行委員会               | 8月17日         | GoogleMeet<br>明治コンサルタント契約  | 6名       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・通常のMeeting形式(全員が映像・音声on)</li> <li>・参加者が使い勝手に慣れていけば、特に問題なし。</li> <li>・ブラウザソフトで動くため、Chromeが必要?・・・エクスプローラでアクセスしたら、音声・映像にトラブルがあった。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |

## 6 行事開催報告

### 6.1 応用生態工学会仙台 フィールド調査 (R1 報告会)

## 応用生態工学会 仙台 フィールド調査 (R1 報告会)

『仙台湾南部海岸環境追跡プロジェクト ～東日本大震災後の海岸堤防について～』  
令和 2 年 (2020 年) 8 月 6 日 (木) : 令和元年度の報告会(ウェビナー開催)

### 【開催報告】

応用生態工学会仙台 普及・連携委員 佐藤高広

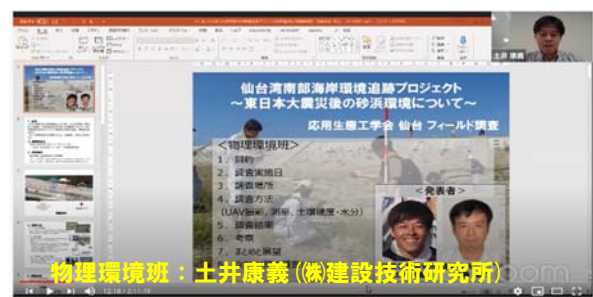
応用生態工学会仙台では、仙台湾南部海岸環境追跡プロジェクトとして、令和元年 8 月 31 日に、仙台湾南部海岸で、市民・行政関係者・研究者で協働し、物理環境・植物・昆虫類の現地調査を行いました。この度、調査の結果について、プロジェクト参加者の皆さま等と、情報を共有するため、ウェビナー形式の報告会を開催しました。なお、今回は Zoom を活用し、Zoom へのアクセス制限がある方に配慮し、YouTube でのストリーミング配信 (同時配信) も行いました。ウェビナーと YouTube を併せた参加者数は約 80 名でした。

参加頂きました学識者の先生方からは貴重なご意見を頂きました。また、令和元年の成果や課題を踏まえ、令和 2 年の調査計画に関しても現地調査を実施する予定です。

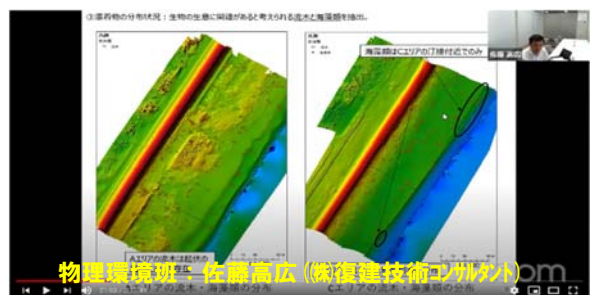
- |             |                                                             |
|-------------|-------------------------------------------------------------|
| 10:00~10:10 | 開催挨拶・趣旨説明：萱場祐一                                              |
| 10:10~11:10 | 調査班の班長報告<br>・物理環境班：土井康義・佐藤高広<br>・植物班：樋村正雄・沖津二郎<br>・昆虫班：町田禎之 |
| 11:10~11:35 | 質疑応答                                                        |
| 11:35~11:55 | R2 調査の方針等：萱場祐一                                              |
| 11:55~12:00 | 閉会挨拶：萱場祐一                                                   |



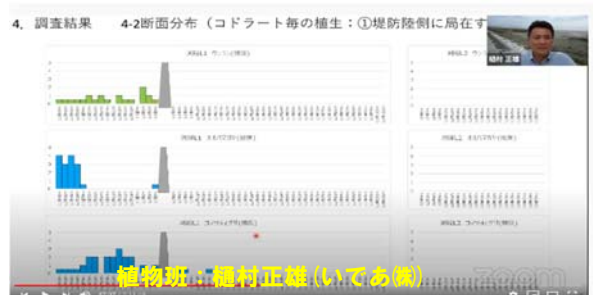
萱場祐一先生 (土木研究所：冒頭説明)



物理環境班：土井康義 (機建設技術研究所)



物理環境班：佐藤高広 (機建設技術研究所)



植物班：樋村正雄 (いであ興)



植物班：沖津二郎 (応用地質)



昆虫班：町田禎之 (機建設環境研究所)

発表者の皆様





### 【頂きました主な意見】

- ・環境条件を決めているメカニズムが重要、物理環境は既往調査結果と併せて整理すべき
- ・土壌硬度や水分は地形を形成する要因、飛砂の供給量・風向等による
- ・土壌硬度は、山中式だと表面の値なので、長谷川式も試した方がよい
- ・重要な植物のオカヒジキ等は年によって出現箇所が変わるので、経年的な調査が必要
- ・ハエ目は波打ち際に多く、海辺のくさったデブリに集まる
- ・昆虫類のセンサス調査は、ボランティアと専門家で傾向が異なるが、それはそれで良いので、それぞれの特徴を生かした調査になればよい
- ・昆虫類は、植物とリンクさせるため陸側の生息確認も必要
- ・大震災後の現地の履歴を地図上にプロットし、関係者に共有させる
- ・防潮堤のない区間、周辺では蒲生干潟等で調査を行い、比較するとより良い

## 今年度以降の進め方 -R2 調査の基本方針-

- 調査範囲、調査項目、調査方法は R1 を踏襲するが、R1 で課題となったところ等は改善することを基本とする。
- ただし、R2 は新型コロナへの感染対策を行う必要があることから、調査規模を縮小し、かつ、調査に当たっては以下の基本方針を遵守することを原則とする。
  - ・各班最低限の人数を確保し、昨年度調査との連続性も意識した上で、当該人員で可能な調査デザインとする。
  - ・物理、植物、昆虫の各班は個々に調査を実施し、現地での接触を避ける。
  - ・班はなるべく少人数とし、人数が増えた場合には同一コンサルタントのメンバーを一つのチームとし、日頃接触のない人との作業を避ける。
  - ・各班は同一時間帯での調査を避ける。
  - ・同一時間帯での調査となった場合には、異なる調査箇所での調査を実施する。もしくは、汀線側、堤防側など十分距離を取って調査を実施する。
  - ・調査日は 8 月 29 日(土)を中心とし、その前後 1 週間程度以内に設定する。各班の体制・調査日の設定については今後検討。※UAV 撮影は上記に限らず好天候日に実施



## 【参 考】



## 7 理事会・幹事会報告

### 7.1 第 105 回理事会（メール会議）報告

第 105 回理事会（メール会議）が本年 5 月 14 日～20 日に開催された。

第 105 回理事会での審議事項と審議結果は次のとおり。

#### ①第 24 回札幌大会の延期及び ELR2021 大会の延期

- ・新型コロナウイルス感染については、収束の見通しが依然不透明な状況にあることから、札幌大会の開催について実行委員会と検討を進めてきた。
- ・ELR2021 大会については、応用生態工学会が幹事学会として来年開催する予定となっている。しかし、新型コロナウイルス感染の収束の見通しが不透明な状況で、ELR 大会の円滑な準備が難しくなることが懸念されることや、東京オリンピック・パラリンピックが来年に延期されたことによる影響も懸念される。
- ・審議の結果、第 24 回札幌大会の今年の開催は見送り、来年 2021 年 9 月に延期し、今年度の研究発表の機会を失うことに対する救済的な措置について、実施のメリットデメリットなどを含めて検討すること及び ELR2021 大会については次年度（2022 年度）に延期する方針とすることが承認された。

### 7.2 第 106 回理事会（メール会議）報告

第 106 回理事会（メール会議）が本年 7 月 30 日～8 月 5 日に開催された。

第 106 回理事会での審議事項と審議結果は次のとおり。

#### ①第 12 期幹事の選出

- ・第 12 期幹事の国土交通省水管理・国土保全局河川環境課河川環境保全調整官の舟橋 弥生氏の本年 7 月の人事異動による転出のため委嘱を解き、後任の波多野 真樹氏を新たに第 12 期幹事に選出することについて、審議の結果、原案どおり承認された。

※学会規約第 13 条第 1 項「幹事は理事会において正会員の中から選出される」

### 7.3 第 107 回理事会（メール会議）報告

第 107 回理事会（メール会議）が本年 8 月 27 日～9 月 2 日に開催された。

第 107 回理事会での審議事項と審議結果は次のとおり。

#### ①第 5 次中期計画の策定延期について

- ・新型コロナウイルスの影響により、理事会及び幹事会も現状において十分な議論を行える環境にはないことや、コロナ後の状況を踏まえた学会活動のあり方も課題として議論する必要があることなども考慮すると、次期中期計画の検討には時間を要するものと考えられることから、第 5 期中期計画の策定を 1 年延期することについて、審議の結果、原案どおり承認された。

#### ②第 24 回総会の開催について

- ・大会期間中に開催されてきた総会については、第 24 回札幌大会が延期となったことから、総会の議事及び議事に対する賛否、意見を表す回答書様式を、ニュースレター、一斉配信、ホームページへの掲載にて正会員に周知し、回答書をメールで提出いただく形で開催することについて、審議の結果、原案どおり承認された。

#### ③2019 年度（令和元年度）決算報告

- ・2019 年度決算は、大会参加費・助成金の増額、大会時の公開シンポジウムを国際交流委員会と共催したことによる経費節減、会誌編集費減等により、588,319 円の黒字となった。しかしな

がら、会誌編集費減は掲載論文数が少なかったことに起因しており、過去 4 年間（2016 年度～2019 年度）の掲載論文数（カッコ内は総ページ）は、24（275 ページ）、28（243 ページ）、19（208 ページ）、17（185 ページ）となっている。平年並みの掲載論文数であれば、2019 年度は赤字決算であったことに留意する必要がある。そのため、会費納入率の向上に向けて会費滞納の会員に督促等の取り組みを継続して進める必要があるとの報告について、原案どおり承認された。

#### ④2019 年度（令和元年度）監査報告

- ・ 2019 年度決算報告書において、関係帳簿および証拠書類と対照監査した結果、正確であることを認めるとの監査報告書について、承認された。

#### ⑤2020 年度（令和 2 年度）事業実施状況・収支見込み

- ・ 新型コロナウイルス感染拡大により、対面式の大会、役員会、各委員会、地域研究会主催の各種イベント等が延期または中止となり、それらに係る収入・支出を見直した結果、収入は当初予算に対して 350 万円弱の減額、支出は当初予算に対して 485 万円弱の減額となったとの報告について、審議の結果、原案どおり承認された。

#### ⑥2021 年度（令和 3 年度）事業計画案

- ・ 例年と同様の事業計画案について、審議の結果、原案どおり承認された。

#### ⑦2021 年度（令和 3 年度）予算案

- ・ 会費収入は、最新の会員数に基づき計上し、その他は、2018 年度及び 2019 年度の決算額の平均値を計上し、収支を均衡させることを基本に作成した 2021 年度予算案について、審議の結果、原案どおり承認された。

#### ⑧2020 年度研究発表会 web 開催について

- ・ 新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う第 24 回札幌大会延期により、研究発表機会を失うことに対する救済措置として、オンラインによる研究発表会を令和 2 年 11 月下旬から 12 月中旬の土休日の 2 日間の日程で、Zoom ウェビナーを用いた口頭発表を中心に開催することが承認された。

#### ⑨来年に延期された札幌大会の開催準備について

- ・ 来年の札幌大会の準備を進めるにあたり、中村太士実行委員長より、新型コロナウイルスの感染状況の終息が見通せない中で、コロナの影響で対面式の大会を実施することが難しいと判断された場合のことを考え、札幌大会の開催形態については、対面のみ開催、対面＋オンラインの併用、オンラインのみの開催の 3 つの案について検討を進めたいとの方針が示され、承認された。

## 8 2020 年度行事の経過と今後の予定

### 2020 年度(令和 2 年度)行事の経過と今後の予定

|                  |                                                                            |
|------------------|----------------------------------------------------------------------------|
| 4. 1             | 2020 年度(令和 2 年度) 開始                                                        |
| 4. 3～6           | 国際交流委員会(メール会議), 2020 年度海外学会等への派遣者 ⇒ 募集中止                                   |
| 4. 17            | 第 24 回札幌大会第 2 回実行委員会 ⇒ 延期                                                  |
| 4. 17            | 応用生態工学会札幌 「氾濫原テキスト」勉強会⇒ 延期                                                 |
| 5. 14～20         | 第 105 回理事会(メール会議)                                                          |
| 5. 28～6. 5       | 情報サービス委員会(メール会議)                                                           |
| 5. 21            | 第 24 回札幌大会の 1 年延期をホームページに掲載、会員に一斉配信                                        |
| 5. 21            | ニュースレター 88 号発行                                                             |
| 6. 2～12          | 第 86 回幹事会(メール会議)                                                           |
| 6. 18～25         | 情報サービス委員会(メール会議)                                                           |
| 6. 23            | 編集幹事会(Web 開催)                                                              |
| 7. 29～31         | 2019 年度決算監事監査(書面検査)                                                        |
| 7. 30～8. 5       | 第 106 回理事会(メール会議)                                                          |
| 8. 6             | 応用生態工学会仙台 フィールド調査令和元年度報告会(Web 開催)<br>『仙台湾南部海岸環境追跡プロジェクト～東日本大震災後の海岸堤防について～』 |
| 8. 6             | 編集幹事会(Web 開催)                                                              |
| 8. 12            | 応用生態工学会東京 2020web 研究発表会 第 1 回準備会(Web 開催)                                   |
| 8. 17            | 第 24 回札幌大会第 2 回実行委員会(web 開催)                                               |
| 8. 18～25         | 情報サービス委員会(メール会議)                                                           |
| 8. 21～27         | 第 87 回幹事会(メール会議)                                                           |
| 8. 31～9. 7       | 第 107 回理事会(メール会議)                                                          |
| 9. 14            | 国際交流委員会(Web 開催)                                                            |
| 9. 17～30         | 第 24 回総会(メール会議)                                                            |
| 9. 17            | ニュースレター 89 号発行                                                             |
| 9 月              | 会誌「応用生態工学」Vol. 23-1 発行                                                     |
| 9. 24～28         | 応用生態工学会 第 24 回札幌大会 ⇒ 1 年延期                                                 |
| 9. 25            | テキスト刊行委員会(Web 開催)                                                          |
| 10. 30           | <後援・近畿地方整備局>令和 2 年度多自然川づくり近畿地方ブロック担当者会議<br>(Web 開催)                        |
| 11 月下～<br>12 月中旬 | 2020 年度研究発表会 web 開催(2 日間)                                                  |
| 12. 10           | 応用生態工学会札幌 「氾濫原の保全と再生」テキスト勉強会<br>(対面とオンライン併用) (札幌教育文化会館講堂)                  |
| 12 月             | 幹事会 (麹町: 応用生態工学会事務所)                                                       |
| 12 月             | ニュースレター 90 号発行                                                             |
| 1 月              | 会誌「応用生態工学」Vol. 23-2 発行                                                     |
| 2 月              | 理事会                                                                        |
| 2 月              | ニュースレター 91 号 発行                                                            |

|         |                      |
|---------|----------------------|
| 2 月～3 月 | 2021 年度海外学会等への派遣員の募集 |
| 3. 31   | 2020 年度（令和 2 年度）終了   |

## 9 事務局より

### 9.1 事務局のスタッフが替わりました

皆様への報告が遅くなってしまいましたが、事務局スタッフの柳川憲子氏が 2019 年 10 月 31 日で退職し、2019 年 11 月 20 日から久保田あつ子氏が就きました。柳川憲子氏には大変お世話になりましたことに感謝申し上げます。

業務に慣れるまでの間は、会員の皆様に対応の遅れ等でご迷惑をお掛けすることがあると思いますが、ご容赦いただきますようお願いいたします。

久保田あつ子氏は、会員データベース・メーリングリスト・会誌団体購読・LEE 購読者・大会参加者等の管理、年会費請求、帳簿作成、ニュースレター配信等の業務を担当します。

どうぞよろしくお願いいたします。

### 9.2 住所等の連絡先が変更となった場合は連絡をお願いいたします

会員情報の変更登録は、ホームページのトップ画面右上の「入退会・登録変更・購読」バナーから入り、「会員登録情報変更フォーム」から入力して送信してください。

また、下記 URL で「会員登録情報変更フォーム」へ直接接続することもできます。

<https://www.ecesj.com/FS-APL/FS-Form/form.cgi?Code=change>

会員情報変更のご連絡は、学会事務局のアドレス E-mail : [eces-manager@ecesj.com](mailto:eces-manager@ecesj.com) にメールをいただくことでも可能です。

会誌のお届け、ニュースレター、その他連絡では、かなりの不達が発生しています。よろしくお願いいたします。

### 9.3 退会の申し出は学会ホームページの退会フォームからお願いいたします

退会の申し出については、退会フォームのほかに、事務局へのメール、電話、年会費払込請求書の通信欄に記載等でなされています。事務局の見落とし等の原因の元になりますので、できるだけ退会フォームまたは件名に「退会の連絡」等明示したメールによる申し出をお願いいたします。

### 9.4 既刊学会誌を希望する会員に頒布します（郵送料は負担してください）

学会事務局では、既刊学会誌の在庫整理を進めています。今後は一定の冊数を確保して、残りは希望者への頒布、廃棄を考えています。希望者多数の場合は、先着順です。

希望される会員は、学会事務局のアドレス E-mail : [eces-manager@ecesj.com](mailto:eces-manager@ecesj.com) までお知らせください。申込者には、事務局から郵送料を計算してお知らせします。郵送料をいただいた後、発送します。

### 9.5 会員数および LEE 購読者数

2020 年 9 月 1 日現在

|      | 会員数          | 対前年同時期比較       | LEE 購読者数 | 対前年同時期比較 |
|------|--------------|----------------|----------|----------|
| 名誉会員 | 9 名          | 増 1 名          | 2 名      | 増 1 名    |
| 正会員  | 856 名        | 減 9 名          | ※69 名    | 減 2 名    |
| 学生会員 | 82 名         | 減 27 名         | 4 名      | 増 3 名    |
| 合 計  | 947 名        | 減 37 名         | 75 名     | 増 2 名    |
| 賛助会員 | 44 法人 (63 口) | 増 1 法人 (増 1 口) |          |          |

---

※賛助会員 1 社を含む